

事業報告

(R4年度)

社会福祉法人 清明福祉会
建国ビハーラ

特別養護老人ホーム 建国ビハーラ
ケアハウス 建国ビハーラ
デイサービスセンター 建国ビハーラ
ヘルパーステーション 建国ビハーラ
建国ビハーラ 居宅介護支援事業所
小規模多機能型居宅介護事業所
認知症対応型共同生活介護

目 次

I	R4 年度総括（法人）事業報告	2
II	特別養護老人ホーム建国ビハーラ	3
III	ケアハウス建国ビハーラ	6
IV	デイサービスセンター建国ビハーラ	9
V	ヘルパーステーション建国ビハーラ	11
VI	建国ビハーラ居宅介護支援事業所	13
VII	小規模多機能型居宅介護事業所 認知症対応共同生活介護	15
VIII	研修 実習生受入状況	24

令和4年度総括

基本理念

「うれし楽し」生きる喜びを感じ、安心できる生活の場の提供

基本方針

「敬い」「安心」「信頼」

運営方針

1. 利用者が住み慣れた場所で安心して過ごせるように支援する。
2. 働きやすい職場環境作り
3. 地域との関係強化

重点項目

① 医療体制の強化に関して・・・

令和4年度より、特養の主治医として、守山いつき病院を新たに契約し、医療体制を新たに構築した。今年度の新型コロナウイルス感染症発症の場合に柔軟な往診と入院体制をいつき病院と連携し、整備することができた。が、新型コロナウイルス感染症が5類となることで、再度、受診や入院の体制を見直すことが必要となる。

② 感染症対策・防災対策

<令和4年度コロナ感染症状況報告>

令和4年 8月26日～ 9月29日	特養陽性者	入所者	32名	職員	7名
令和4年12月 7日～12月19日	ケアハウス陽性者	入所者	16名	職員	1名
令和4年12月7日～令和5年1月26日	特養陽性者	入所者	24名	職員	12名

防災訓練は年2回実施。

BCP作成及び、感染症拡大防止のための訓練、及び業務継続のための訓練、研修も今後は年2回以上実施予定。

③ 職場環境の改良

認知症介護基礎研修については、未実施。経験年数、役職に応じた研修は未実施。

今後の課題として、職員の定着率を上げるために、資格取得支援を継続し、外部研修、外部講師を積極的に取り入れる。

職員の教育に関しては、職員同士のコミュニケーションを活発にし、人員不足による職員のストレス回避のため、業務内容の見直し及びマニュアルの再作成を令和5年度は実施すること。

④ 地域活動への参加

コロナ禍においても、毎月、子ども食堂、認知症カフェは実施。

認知症カフェについては、コロナ禍において、利用者の行動制限により、閉鎖的になりがちな雰囲気の中、温かいひとときを過ごしていただける機会となった。

また、子ども食堂については、お弁当、各企業様、近隣の店舗様よりいただいた商品を配布することで、地域の子供たちのみならず、住民の皆様の憩いの場となることができた。

⑤ 建物管理、修理修繕

今後は、建物内の給湯管等の調査を実施。修繕箇所を洗い出し、修繕計画をたてる。

令和4年度 特別養護老人ホーム

【運営状況】

1. いつき病院との医療体制強化

- ・ 連携初年度の為、業務に支障をきたすこともあり会議を実施し業務のすり合わせをする。
紹介状の依頼方法について
インフルエンザ、コロナワクチン接種の実施について
体調不良者の対応方法・入院調整について

2. 夜間対応方法の見直し

- ・ オンコールを廃止した為、介護職員の夜間対応の方法(マニュアル)を見直す。
救急搬送の基準、搬送方法を各職員に周知する。

3. コロナウイルス感染者の発生

- ・ 8月、12月と2度クラスターを経験。特養利用者では初感染者が発生する。

8月（利用者 31名、職員 5名）

8/17利用者1名の感染確認後、感染者が増大する。HOT導入や日々点滴投与の方もあり酸素や点滴の管理を行う。9月に入り感染スピードは鈍化し、9/24隔離対応全面解除

12月（利用者 24名 職員 11名）

12/6利用者1名の感染確認。翌日1名、翌々日6名と感染増加する。1月に入り感染スピードは鈍化するが間隔をあけ感染者が発生する。1/27感染者0名となり、1/31隔離対応解除。

□ 年齢分布

(令和5年3月31日現在) (人)

	男	女	計
70歳未満～74歳	0	2	2
75歳～79歳	4	7	11
80歳～84歳	2	11	13
85歳～89歳	4	17	21
90歳～94歳	4	14	18
95歳以上	1	5	6
計	15	56	61

□ 要介護度状況

(令和5年3月31日現在) (人)

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計	平均
—	1	20	23	18	63	3.9

□ 入退所状況

(令和5年3月31日現在) (人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
初日在籍者	64	64	63	63	63	62	62	61	60	60	58	62	-
入所	3	1	1	2	2	0	2	4	1	1	6	2	25
退所	2	2	1	2	3	0	2	6	1	3	2	1	25

□ 平均在籍期間

(令和5年3月31日現在) (人)

平均在籍期間	男	2年3ヶ月
	女	2年7ヶ月
	計	2年6ヶ月

□ 年間月別実績

(令和4年度)

定員	月	延べ在籍者数	ベッド稼働率
64	4月	1,840	95.8%
	5月	1,915	96.5%
	6月	1,813	94.4%
	7月	1,916	96.5%
	8月	1,916	96.5%
	9月	1,804	93.9%
	10月	1,862	93.8%
	11月	1,720	89.9%
	12月	1,785	89.0%
	1月	1,767	88.0%
	2月	1,577	93.1%
	3月	1,789	92.9%
	年間	21,704 (昨年度 21518)	92.3% 昨年度 92.1%

□ 実入院者数

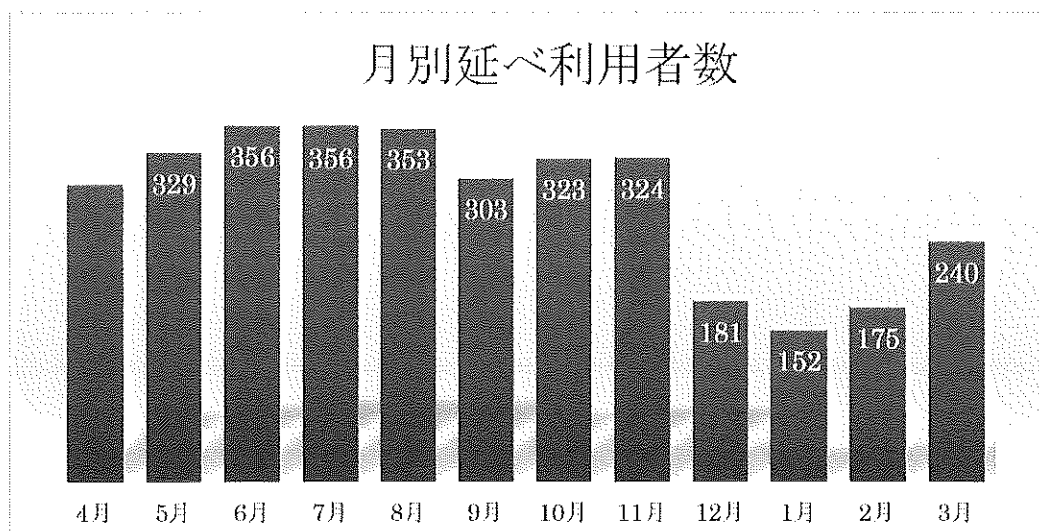
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入院	5	5	6	4	1	3	4	6	6	3	6	8	59

◇ 建国ビハーク指定短期入所生活介護事業所 ◇

利用実績

(R4年度)

定員 (人)	月	延べ利用者数 (人)	ベッド稼働率 (%)	利用人員 (人)
16	4	297	61.8	13
	5	329	66.3	15
	6	356	74.1	19
	7	356	71.7	20
	8	353	71.1	16
	9	303	63.1	12
	10	323	65.1	13
	11	324	67.5	16
	12	181	36.4	12
	1	152	30.6	6
	2	175	39.0	11
	3	240	48.3	11
令和4年 合計		3389	58.0	164
令和3年度実績		4703	80.0	210



令和4年度 ケアハウス

【重点項目】

1. 長期目標 → 利用者支援を幅広く身に着け、落ち着きのある安心した生活環境を提供する。また家族との信頼関係の構築と施設方針の理解を進める
2. 短期目標 → 生活支援のため、必要な介護サービスの提供が図れるよう関係機関及び法人内の事業所との連携を強化する。
3. 認知症および精神障害者に対する理解を深め、利用者対応スキルを向上する
4. 数値目標 → 平均在籍者数 33名

【運営状況】

- ・令和4年12月にコロナ感染症が発生。陽性者 利用者16名 職員1名
対策としては、食事は居室配膳。外部、法人内の介護サービスは基本的に中止。外出、面会中止となる。
また、かかりつけ医の受診等についても、電話往診となるなど、外部との関わりがほとんど無くなり、生活の場がほぼ居室内となり、認知症の進行、体力の低下がみられるようになった。それにより、ケアハウスでの生活に介護サービスの提供が必要となるケースや、体調不良の場合の受診のケースが増えたが、家族との連携がスムーズに行えない事例が多々みられた。
- ・ケアハウスでの生活を継続できるよう必要な介護サービスを提供するため、外部事業所や法人内事業所との連携を密にすることが不十分であった。

行事実施状況

4月	懇談会 回転寿司の会	10月	懇談会 月見の会 コロナウイルス予防接種4回目
5月	懇談会 計画停電 新緑の会 防災訓練	11月	懇談会 紅葉の会 秋の健康診断
6月	懇談会 なごやめしの会	12月	懇談会 忘年会
7月	懇談会 七夕の会 七夕笹飾り付け	1月	懇談会 新年会
8月	懇談会 アイスクリームの会 涼みの会	2月	懇談会 ひな祭りの飾り付け 春を迎える会

9月	懇談会 敬老会	3月	懇談会 ひな祭り会 ソフトクリームの会
----	------------	----	---------------------------

入退居状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入居	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	1	0	4
退居	0	0	1	1	0	0	2	0	1	2	1	2	10

退居理由

	在宅	他施設	入院	死亡	計
男性	0	0	0	1	1
女性	0	7	1	1	9

在籍者数 (R5.3.31 現在)

男性 8名

女性 17名

計 25名

月別入居者数 (初日在籍)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入居者数	30	30	31	30	29	30	30	28	29	28	26	26

3月31日在籍 男性 8名 女性 17名

入居者年齢構成

年齢	～65	66～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95～100	計
男性	0	2	0	2	1	2	0	1	8
女性	0	0	1	1	3	5	6	1	17
合計	0	2	1	3	4	7	6	2	25

平均年齢

男性 : 81歳

女性 : 86歳

入院状況

内科	脳神経外科	精神科	外科	救急科	地域包括ケア
3回	回	1回	1回	回	1回

入居前住所所在地

守山	千種	名東	西	中村	北	中	東	天白	名古屋市外	計
9	4	2	1	1	1	2	1	2	2	25

愛知県内：25名 愛知県外：0名

介護認定状況

	自立	要支援1	要支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
男性	3	0	1	2	2	0	0	0	8
女性	5	0	5	4	2	0	0	1	17
計	8	0	6	6	4	0	0	1	25

クラブ・リハビリ参加状況

参加者数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
いきいき体操	5	6	6	6	6	6	7	7	—	7	6	6
カフェオアシス	13	11	9	7	12	10	6	8	—	8	11	13
書道クラブ	1	—	—	6	1	—	—	2	—	5	4	—
脳トレクラブ	2	1	—	1	1	2	1	3	—	2	4	3
卓球サークル	2	2	—	5	—	—	8	2	—	5	5	5
カフェ憩い	—	—	—	10	—	—	—	—	—	14	—	11
園芸クラブ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

令和4年度 デイサービスセンター事業報告

【重点項目】

- ①食事やイベントスケジュールの充実
- ②個別レクリエーションの充実
- ③強みを活かしたサービスを提供する。
- ④数値目標 稼働率60% 月間延べ利用者数312名/26日

【運営状況】

- ・誕生日会・季節ごとのレクリエーションの実施。
- ・補助金を活用し、送迎車両を購入。
- ・同施設内にてコロナ感染症クラスター発生のため、利用控えもあり、デイ利用者数が減少。
- ・今後の課題としては、利用者獲得のため、利用者、家族の要望されるサービスを適切・迅速に提供できるよう人員配置をすること。また、あらゆるサービスに対応できるよう介護技術や、認知症ケアを再構築することが挙げられる。

1. 利用者の状況

<要介護度別状況>

(令和5年3月31日現在) (人)

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
0	1	7	6	3	2	1	20

性別 男性 7名 女性 21名 (前年度: 30名)

<月間利用状況>

令和4年度 ※ () は前年度

定員20名

月	営業日	延べ利用者数	1日平均利用者数	新規利用者数	稼働率
4	26 (26)	164 (222)	6.3(8.5)	0	31.5(42.7)
5	26 (26)	166 (208)	6.3(8.0)	0	31.5(40.0)
6	26 (26)	163 (198)	6.2(7.6)	0	31.0(38.1)
7	26 (27)	179 (201)	6.8(7.4)	0	34.0(37.2)
8	27 (26)	141 (177)	5.2(6.8)	1	26.0(34.0)
9	25 (26)	166 (197)	6.6(7.6)	0	33.0(37.9)
10	25 (26)	196 (188)	7.8(7.2)	0	39.0(36.2)
11	26 (26)	175 (174)	6.7(6.7)	0	33.5(33.5)
12	17 (26)	74 (172)	4.3(6.6)	0	21.5(33.1)
1	20 (24)	98 (148)	4.9(6.2)	2	24.5(30.1)
2	20 (24)	120 (153)	6.0(6.4)	3	30.0(31.9)
3	22 (26)	126 (163)	5.7(6.3)	0	28.5(31.3)

合計	286 (309)	1768 (2201)	6.2(7.1)	6 (7)	31(35.6)
----	-----------	-------------	----------	-------	----------

終了理由 1.入所 4名 2.死去 0名 3.他施設利用 1名 4.入院 0名 5.その他 13名

<住所別利用者数>

令和5年3月31日現在 (人)

守山区	春日井市	尾張旭市	ケアハウス	合計
11	2	0	7	20

<居宅介護支援事業所別 利用者数>

令和5年5月31日現在 (人)

建国ビハーク	社会福祉協議会	単独居宅事業所	入所併設	合計
12	0	4	4	20

令和4年度 訪問介護

【重点項目】

- (1) 利用者様のその日の精神状態などをよく観察し、利用者様がヘルパーに相談しやすいような環境を整え、サービス改善と向上に努めます。
- ①身体介護をして行われる「自立生活の為の見守りの援助」を明確化。
 - ②利用者の口腔や服薬状況等の必要な情報を伝達する。
 - ③ケアマネと報連相の徹底。
 - ④医療に関する情報提供。
- (2) 業務分担、稼働調整、ヘルパーの確保を円滑に行い長く働きやすい職場作りに務める。
- ・定期的研修、業務会議やカンファレンスを開催。
 - ・具体的実施内容
 - ・定期的研修、と業務会議やカンファレンスを開催。
- 業務会議やカンファレンスにて利用者の問題事例やサービス提供について解決に向けて検討を行い、情報の共有化に努める。

【運営状況】

1. サービス提供方法について、利用者様ができることは声掛けをしながら、気持ちよく動いていただけるよう、自立支援を促す。
2. 定期的な研修を行うことで、サービスの質の向上に繋がっている。
3. 業務会議やカンファレンスにて、利用者様の問題事例やサービスについての解決に向けて検討を行い、情報の共有化を図っている。
4. 業務の効率化を図るため、ファイリング方法を見直している。
5. ご本人、ご家族へのアドバイスを実施している。

利用者状況

(令和4年度)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
生活	3	3	2	3	4	4	4	4	4	4	3	3	41
身体	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	5	49
身体+生活	15	14	13	14	14	15	14	14	14	13	15	16	171
総合事業Ⅰ	1	1	2	2	2	2	2	8	6	2	5	5	38
総合事業Ⅱ	8	8	8	8	8	9	8	2	2	5	1	1	68
総合事業Ⅲ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	31	30	29	31	32	34	32	32	30	28	28	30	367

前年度計 340 件

居宅別利用者状況

(令和5年3月31日現在)

建国ビハーク	ケアプランあいらす	ユトピア第2つくも	望みケアプラン
12	1	2	1
ケアプランはーと	ケアプランウイズ	プライムパートナーズ	瀬古マザー園
1	1	1	2
あおきさん家	四つ葉ケアマネジメント	ケアプランセンター優	紙ふうせん
4	1	2	1
ケアプラン天天			
1			

曜日別利用者数

(令和5年3月31日現在)

曜日	月	火	水	木	金	土	日	合計
平均	13	11	10	9	11	0	0	54

支援・介護度別実績 (令和4年度)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
		令和4年度	支援	9	9	9	10	10	11	10	10	8	7		
	介護	23	21	21	21	22	23	22	22	22	21	23	25	264	22
	合計	31	30	30	31	32	34	32	32	30	28	28	30	367	31
令和3年度	支援	9	10	9	9	8	9	9	9	9	9	8	8	106	9
	介護	22	22	21	19	18	18	17	19	19	19	19	21	234	19
	合計	31	32	30	28	26	27	26	28	28	28	27	29	340	28

令和4年度 居宅介護支援事業所

【重点項目】

- ・地域包括ケアを基盤として、介護保険サービス等の円滑な調整を行う。
- ・住み慣れた自宅で利用者、家族が安心して、在宅生活を過ごせるように居宅介護支援する。
- ・ケアマネジメントの質的向上により、利用者の自立支援に関与する。
- ・事例検討、評価

【活動内容】

- ・地域包括ケアシステムを基盤としてのケアマネジメント
ケアプラン作成、給付請求、認定調査、医療連携、退院支援
- ・介護予防委託業務（総合事業継続）
いきいき支援センターへの相談、報告、連携
- ・高齢者いきいき相談室の継続と充実
電話相談、訪問相談、地域や行政との連携
- ・能力向上とキャリア形成
能力向上研修、専門職研修

利用者実績状況

(令和4年度)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
予防給付	18	21	25	25	25	26	28	27	26	26	25	28	300
介護給付	52	53	53	52	53	51	51	53	48	49	52	55	622
合計	70	74	78	77	78	77	79	80	74	75	77	83	922

介護認定調査～在宅、外部委託

(令和4年度)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
認定調査実施件数	2	1	0	0	0	1	1	1	2	2	0	3	13

昨年と同様に、コロナ延長申請をされる方が多数。

四日市市、瑞浪市、武豊町、豊山町、江南市、春日井市の外部委託受託

高齢者いきいき相談室

(令和4年度)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実績件数	0	0	1	0	0	0	0	1	0	2	0	1	4

契約終了者(予防・介護)

(令和4年度)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
契約解除	1	1	3	4	5	1	1	3	5	2	2	3	31

ご逝去、施設入所等の理由

加算状況（予防給付）

（令和4年度）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
初回連携加算	2	3	7	1	2	2	1	0	1	0	1	3	23

加算状況（介護給付）

（令和4年度）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
初回加算	4	2	4	2	4	3	2	2	1	3	5	3	35
医療連携	2	1	0	0	2	1	2	4	1	0	2	1	17

介護度別 利用者実績状況

（令和4年度）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
事業対象者	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	1	2	21
要支援1	6	8	10	10	8	9	8	7	7	7	7	8	95
要支援2	11	12	13	13	15	15	18	18	17	17	17	18	184
要介護1	15	15	14	14	15	16	17	14	14	13	14	15	176
要介護2	14	13	11	11	11	12	13	14	13	14	14	13	153
要介護3	8	8	11	11	11	11	10	13	10	11	13	15	132
要介護4	11	12	13	12	12	9	8	8	7	7	7	7	113
要介護5	4	5	4	4	4	3	3	4	4	4	4	5	48
計	70	74	78	77	78	77	79	80	75	75	77	83	922

前年比：+205件

令和4年度 認知症対応型共同生活介護

【年間目標】

1. 利用者様の入居稼働率の向上をめざす。
2. 家庭的な雰囲気づくりを継続的に行う。
3. いつまでも自分らしい生活ができるケアをめざす（介護・医療及び家族との相互連携）。
4. 防災対策の充実を図る。
5. 感染症対策の充実を図る。
6. 事業所内各種設備の稼働状況を確認し、必要に応じて修繕を行う。
7. 地域社会との連携を図ることで、当事業所が担う役割を明確化し実践していく。
8. 上記目標達成のため、介護人材の育成と働きやすい職場環境の充実を図る。

【具体的実施内容】

1. 利用者様の入居稼働率の向上
 - ・千種区東部いきいき支援センター等との交流も継続しつつ、入居稼働率100%をめざした。上記事業所や、地域にお住まいの個人々々からのお問い合わせも多々あったが、なかなか入居までには至らず、年度後半（1月）になって満床状態を確保することができた。
2. 家庭的な雰囲気づくり
 - ・これまでと同様、より和んだ状態でお食事をしていただけるよう、温かみのある陶器の食器の使用を継続し、利用者様個々の生活能力の維持に繋げるため、食事面では配膳や片付けに加え食材の下ごしらえ等、簡単な調理のお手伝いにも関わっていただいた。また、洗濯物をたたむ等々のお手伝いも継続し、ご自分の『家』という雰囲気づくりに繋げることができた。
3. いつまでも自分らしい生活ができるケア
 - ・利用者様ご家族様の最新のニーズに即した生活を実現するため、個々のケアプランの見直しや、カンファレンスを定期的で開催するよう努めた。
 - ・利用者様の介護・支援を円滑に進めるにあたり、効率的な記録入力や個人情報保護を目的とした記録管理のため、可能な限り事業所内のICT化をめざしたが、職員の慢性的な不足状態等により、iPad積極的活用（スキルアップ）の取り組みができず、日々の記録とメインPCの記録記録管理システムとの紐づけの強化や、各種記録のペーパーレス化等といった目に見える効果にまでは至らなかった。また、昨年度導入した介護ロボット（眠りスキャン）については、就寝中のバイタル等の把握の必要性が高い利用者様向けに活用することにより、スタッフによる夜間見守りの軽減に繋げることができ、利用者様の介護業務の『見える化』や職員の業務を、一部ではあるが合理化できた。
4. 防災対策
 - ・年間を通じて開催された運営推進会議にて、地域における防災のあり方について意見交換をすることができた。地域における防災関連の社会資源を知る等、良い機会になったが、災害発生時の地域との連携のあり方を含むBCP（事業継続計画）の課題が見えてきた。また、備蓄食品の管理については、秋の防災訓練後日に使用期限が迫った食品（けんちん汁）を利用者様の食卓にお出しすることで、職員とともに非常食の扱い方や味を体験することができた。

5. 感染症対策

- これまで以上に衛生管理体制を整え、状況に応じた迅速な予防対策の実施をめざした。とりわけ、新型コロナウイルス感染予防対策については、最新情報に即した対応を各種会議や日常的な職員間の申し送りにて具体化し、実施するよう努めた。1月末～2月上旬には、事業所内で初めて、利用者様及び職員の新型コロナウイルス感染（クラスター）が発生し各種対応に追われたが、保健センターや提携在宅クリニックの医師からの指示をもとに、状況に応じた判断をできるだけ早く行うことで、感染者の重症化にまでは至らず終息させることができた。また、そこでの経験をもとに新たなノウハウを得ることもできた。

6. 事業所内各種設備の稼働状況の確認

事業所が開設して7年目になり、エアコンや換気設備をはじめ比較的大きめな設備の不備が年間的に報告されることが増え、必要に応じて業者を介したクリーニングや修理を敢行した。

7. 地域社会との連携

地域行事への積極的参加も年間的に実施する予定であったが、今年度も新型コロナウイルス感染症流行のため、相次いで地元の行事が中止・延期となり交流できなかった。

地域貢献活動として継続しているこども食堂については、事業所北側の方（エクマクリ様）との共同事業として地域住民への認知度が格段に上がった。毎月第4水曜日の夕方に開催し、コロナ禍における地域社会との貴重な交流の場として重要視しつつ、弁当の配布という最小限の活動から一歩広げて、夏場のかき氷体験やボランティアを招いての楽器演奏等、お楽しみ要素も取り入れることができた。

また、認知症カフェについても毎月第4日曜日の午後に継続開催することができた。コロナ禍のなかであることから、ほぼてんまん利用者様のみの参加になることも多かったが、年度後半になって、千種区東部いきいき支援センターを介したり、あるいは地域の方個人からの問い合わせがあり、カフェ開催時にお越しいただき、介護相談等させていただくことも増えつつある。

8. 介護人材の育成と働きやすい職場環境の充実

介護職員の資格取得支援や認知症介護基礎研修受講については、職員不足やコロナ禍での各種対策もあり、利用者様への直接処遇の充実を図ることを優先したことで、職員個々への業務負担の軽減という面では効果もあったが、介護人材としてのスキルアップの部分では消極的な形となった。更に、キャリアパスの構築やハラスメント防止対策（マニュアル作り）等働きやすい環境整備についても、より具体的な内容策定をしていくことが課題である。

○ その他

また、2か月にごとに実施予定の運営推進会議については、8月に新型コロナウイルス感染症流行等の理由のため中止となったが、それ以外は全て開催することができた。

□入退去状況

(R4年度) (人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
初日在籍者数	17	17	17	17	17	17	17	17	17	18	18	18	207
入居	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
退去	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

□要介護状況

(R5年3月31日現在) (人)

要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計	平均
0	1	5	2	4	6	18	3.5

□年齢分布

(R5年3月31日現在) (人)

	75歳～79歳	80歳～84歳	85歳～89歳	90歳以上	計
男性	0	1	0	1	2
女性	0	1	4	11	16
計	0	2	4	12	18

□在籍期間

(2023年3月31日現在) (人)

	1年未満	1年～2年	2年～3年	3年～4年	4年～	計
男	0	1	0	0	1	2
女	1	5	3	1	6	16
計	1	6	3	1	7	18

□稼働率 : 利用者様の在籍率 (%)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均値
稼働率	94.4	94.4	94.4	94.4	94.4	94.4	94.4	94.4	94.4	100	100	100	95.8

□年間行事 (コロナ禍の影響により、実施されたもののみ表記)

年間行事については、季節を感じられるものとしてこれまでも重要視してきたが、新型コロナウイルス感染症の流行により、その多くが中止・縮小を余儀なくされた。よって、今年度も外出しないものに限定し、日常とは違った食事内容等の工夫により、行事としての色合いを何とか出せるようにした。

	行事		行事
4月		10月	
5月		11月	防災訓練 (地震想定)
6月	防災訓練 (火災想定)	12月	鍋パーティー (年忘れ会)
7月		1月	新年会 (食事・新春にちなんだレクリエーションの工夫にて)
8月		2月	
9月	敬老会 (ご長寿の表彰・食事の工夫にて)	3月	ヤクルト健康教室 (おなかの健康についての利用者様向け講習)

認知症カフェ・・・毎月第4日曜日に開催予定とし、新型コロナウイルス感染予防対策を行いつつ、毎月開催することができた。

音楽療法・・・2か月に1回開催予定であったが、新型コロナウイルス感染予防対策のため今年度はすべて中止とした。

ヨガ教室・・・新型コロナウイルス感染予防対策を行いつつ、1階フロアにて6月より2ヶ月に1回のペースで開催することとなり、希望される利用者様に参加いただくことができた。

書道教室・・・毎月第2火曜日に1階フロアで開催予定であり、新型コロナウイルス感染予防対策を行いつつ、7月以降よりほぼ予定通り開催することができ、希望される利用者様に参加いただくことができた。

歌声サークル・・・毎月1回開催予定であったが、新型コロナウイルス感染予防対策のため今年度はすべて中止とした。

訪問理美容・・・新型コロナウイルス感染予防対策をしつつ、利用者様の衛生管理の一環として不可欠であるとの判断から、てんまん内感染拡大時以外はできる限り実施した。

※ その他、誕生日会については各フロアにて実施した。また、年度後半からは利用者様全員を対象とした形ではなく、気候の良い日を選び、個人単位で近隣の散策へ出かける活動を少しずつではあるが取り入れることができた。

令和4年度 小規模多機能居宅介護

【年間目標】

1. 登録者20名をめざす。
2. 利用者様、ご家族様との信頼関係を築き、日々のご要望に沿ったサービスを臨機応変に提供していけるようにする。
3. 在宅での生活を継続できるように支援する。
4. 防災対策の充実を図る。
5. 感染症対策の充実を図る。
6. 事業所内各種設備の稼働状況を確認し、必要に応じて修繕を行う。
7. 地域社会との連携を図ることで、当事業所が担う役割を明確化し実践していく。
8. 上記目標達成のため、介護人材の育成と働きやすい職場環境の充実を図る。

【具体的実施内容】

1. 登録者20名
 - ・利用希望の方を積極的に受け入れ、見学や一日体験を含む様々な説明をしながら利用に至るまでの流れをスムーズに運ぶよう努めた。その結果、2名様が新たに利用開始となった。
 - ・千種区東部いきいき支援センターへの連絡や、近隣の介護事業所スタッフとの情報交換等を通じ、小規模多機能型居宅介護事業所の説明及び利用者募集をPRする取り組みを行った。その結果、何名かの問い合わせがあり、当事業所の方が認知症カフェに来られ介護相談に至ることもあったが、更なる登録者の確保にまでは至らず10名にとどまった。
2. 利用者様、ご家族様のご要望に沿ったサービスを臨機応変に提供
 - ・利用者様ご家族様の最新のニーズに即した生活を実現するため、ケアマネジャーや管理者とご家族様との面談の機会も確保する予定であったが、新型コロナウイルス感染症流行による影響で事業所内でのやりとりは極力控えることとなったため、送迎や自宅訪問時に個々のケアプランの見直し等を行うよう努めた。
 - ・利用者様の介護・支援を円滑に進めるにあたり、効率的な記録入力や個人情報保護を目的とした記録管理のため、今年度も事業所内のICT化をめざしiPadの活用により日々の利用者様に関する記録をメインPCの記録管理システムと紐づけし、利用者様の介護業務の『見える化』に繋げる予定であったが、日々の連絡帳の活用や電話連絡にてご家庭と情報共有をすることが多く、目標達成には至らなかった。
3. 在宅での生活を継続できるように支援すること
 - ・利用者様のご自宅への送迎・訪問時を大切な機会ととらえ、ご本人の了承を得つつ、自宅内での住環境等に関する情報から、どのような援助が必要なのかを明確化することに努めた。ご家族様との信頼関係は昨年度以上に深まっており、より細かなご要望をいただくことで対応できることが増えた。

4. 防災対策

- ・年間を通じて開催された運営推進会議にて、地域における防災のあり方について意見交換をすることができた。地域における防災関連の社会資源を知る等、良い機会になったが、災害発生時の地域との連携のあり方を含むBCP（事業継続計画）の課題が見えてきた。また備蓄食品の管理については、秋の防災訓練後日に使用期限が迫った食品(けんちん汁)を利用者様の食事にお出しすることで、職員とともに非常食の扱い方や味を体験することができた。

5. 感染症対策

- ・これまで以上に衛生管理体制を整え、状況に応じた迅速な予防対策を実施できるようめざした。とりわけ、新型コロナウイルス感染予防対策については、最新情報に即した対応を各種会議や日常的な職員間の申し送りにて具体化し、実施するよう努めた。
- ・これまで以上に衛生管理体制を整え、状況に応じた迅速な予防対策の実施をめざした。とりわけ、新型コロナウイルス感染予防対策については、最新情報に即した対応を各種会議や日常的な職員間の申し送りにて具体化し、実施するよう努めた。日常的な窓の開閉による換気等を行い、感染症予防を徹底したが、令和4年8月に利用者様のご自宅で新型コロナウイルスに感染したことを受け、小規模の活動は継続しつつ、対象となるご家庭への訪問については10日間ほど固定した職員にて対象者宅を訪問することとなった。その後、令和5年1月末～2月上旬には、当事業所グループホーム2Fの利用者様とスタッフが新型コロナウイルスに感染（クラスター）が発生し各種対応に迫られたが、保健センターや提携在宅クリニックの医師からの指示をもとに、状況に応じた判断をできるだけ早く行うことで、感染者の重症化にまでは至らず終息させることができた。また、そこでの経験をもとに新たなノウハウを得ることもできた。

6. 事業所内各種設備の稼働状況の確認

事業所が開設して7年目になり、エアコンや換気設備をはじめ比較的大きめな設備の不備が年間的に報告されることが増え、必要に応じて業者を介したクリーニングや修理を敢行した。

7. 地域社会との連携

地域行事への積極的参加も年間的に実施する予定であったが、今年度も新型コロナウイルス感染症流行のため、相次いで地元の行事が中止・延期となり交流できなかった。

地域貢献活動として継続していることも食堂については、事業所北側の方（エクマクリ様）との共同事業として地域住民への認知度が格段に上がった。毎月第4水曜日の夕方に開催し、コロナ禍における地域社会との貴重な交流の場として重要視しつつ、弁当の配布という最小限の活動から一歩広げて、夏場のかき氷体験やボランティアを招いての楽器演奏等、お楽しみの要素も取り入れることができた。

また、認知症カフェについても毎月第4日曜日の午後に継続開催することができた。コロナ禍のなかであることから、ほぼてんまん利用者様のみの参加になることも多かったが、年度後半になって、千種区東部いきいき支援センターを介したり、あるいは地域の方個人からの

問い合わせがあり、カフェ開催時にお越しいただき、介護相談等させていただくことも増えつつある。

8. 介護人材の育成と働きやすい職場環境の充実

介護職員の資格取得支援や認知症介護基礎研修受講については、職員不足やコロナ禍での各種対策もあり、利用者様への直接処遇の充実を図ることを優先したことで、職員個々への業務負担の軽減という面では効果もあったが、介護人材としてのスキルアップの部分では消極的な形となった。更に、キャリアパスの構築やハラスメント防止対策（マニュアル作り）等働きやすい環境整備についても、より具体的な内容策定をしていくことが課題である。

○ その他

また、2か月にごとに実施予定の運営推進会議については、8月に新型コロナウイルス感染症流行等の理由のため中止となったが、それ以外は全て開催することができた。

□新規登録者数 (2022年度) (人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
新規登録者数	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
月末登録者数	8	8	9	10	10	10	10	10	10	10	10	10	115
終了者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

□通所・訪問・宿泊 (2022年度) (人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
通所	180	169	170	212	213	222	221	209	219	221	194	235	2,465
訪問	34	31	39	55	53	54	46	50	61	79	62	64	628
宿泊	100	93	92	106	109	107	106	98	115	123	116	146	1,311

□年齢分布 (2022年3月31日現在) (人)

	74歳以下	75歳～79歳	80歳～84歳	85歳～89歳	90歳以上	計
男性	0	0	0	0	0	0
女性	0	0	4	1	5	10
計	0	0	4	1	5	10

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計	平均
0	0	3	3	2	2	0	10	2.3

□要介護状況 (2022年3月31日現在) (人)

□在籍期間

(2022年3月31日現在) (人)

	1年未満	1年～2年	2年～3年	3年～4年	4年～	計
男	0	0	0	0	0	0
女	2	1	0	2	5	10

□稼働率 : 最大登録者数 25 名に対する利用者様の在籍率 (%)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均値
稼働率	32.0	32.0	36.0	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0	38.3

□年間行事（実施されたもののみ表記）

年間行事については、季節を感じられるものとしてこれまでも重要視してきたが、新型コロナウイルス感染症の流行により、その多くが中止・縮小を余儀なくされたが、車から降りない形でのドライブ等から実施を試み、外出行事としての色合いを何とか出せるように工夫した。

	行事		行事
4月	花見ドライブ	10月	
5月		11月	防災訓練（地震想定）
6月	防災訓練（火災想定）	12月	
7月		1月	新年会（食事の工夫にて）
8月		2月	節分会
9月	敬老の日のお祝い	3月	ヤクルト健康教室（おなかの健康についての利用者様向け講習）

認知症カフェ・・・毎月第4日曜日に開催予定とし、新型コロナウイルス感染予防対策を行いつつ、毎月開催することができた。

音楽療法・・・2か月に1回開催予定であったが、新型コロナウイルス感染予防対策のため今年度はすべて中止とした。

ヨガ教室・・・新型コロナウイルス感染予防対策を行いつつ、1階フロアにて6月より2ヶ月に1回のペースで開催することとなり、希望される利用者様に参加いただくことができた。

書道教室・・・毎月第2火曜日に開催予定であったが、新型コロナウイルス感染予防対策を行いつつ、7月以降より、ほぼ予定通り開催することができた。また、講師主催の展示会へ希望なさる方の作品を応募・展示することができた。

歌声サークル・・・毎月1回開催予定であったが、新型コロナウイルス感染予防対策のため今年度はすべて中止とした。

介護体験実習生受け入れ・・・9月に受け入れをし、2月はコロナ関連で中止となったが、3月末に再び受け入れることができた。利用者様にとっても外部からの訪問者ということで良い刺激になった。

※ その他、誕生日会については、誕生日を迎える利用者様がおられる月毎に実施した

令和4年度 研修

事業所全体 <施設内研修>

職種	研修日	研修名	研修場所	研修内容
全職員	R4.4.25	身体拘束研修	1F デイルーム	高齢者虐待防止法
〃	R3.4.25	排泄ケア 勉強会	〃	王子ネピア様 オムツの使用方法の確認
〃	R3.6.27	感染症研修	〃	感染症の基本
〃	R3.6.27	メンタルヘルス研修	〃	介護労働安定センター様
〃	R5.2.27	リスク事例検討 身体拘束研修	1F デイルーム	自己点検シート
〃	R5.3.8	感染症研修	3F スタッフルーム	事例から対策を検討する。 感染症マニュアル確認
〃	R5.3.27	認知症研修	1F デイルーム	介護労働安定センター様

実習受け入れ状況 介護実習・介護体験・社会福祉援助・交換研修

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	実人数	実人数	実人数	実人数	実人数	実人数	実人数	実人数	実人数	実人数	実人数	実人数	実人数
	延人数	延人数	延人数	延人数	延人数	延人数	延人数	延人数	延人数	延人数	延人数	延人数	延人数
東海学園 大学						3	2						
金城学院 大学						15	10						
名古屋経営 短大			3	3									
日本福祉大学			57	6									
合計			3	3		3	2	5					
			57	6		15	10	25					

令和4年度 事業所研修（てんまん）

□施設内研修

職種	研修日	研修名	研修場所	研修内容
介護職	R4.04.21	接遇・メンタルヘルス	てんまん	接遇、メンタルヘルス
〃	R4.06.16	感染症	〃	食中毒
〃	R4.08.31	身体拘束・虐待防止	〃	身体拘束・虐待防止
〃	R4.10.25	感染症	〃	インフルエンザ・ノロウイルス
〃	R5.01.26	腰痛予防・リスクマネジメント	〃	腰痛リスク等各種リスク対応
〃	R5.03.29	身体拘束・虐待防止研修 個人情報保護法・職業倫理・ 法令順守関連研修	〃	身体拘束と虐待防止を関連付け 個人情報保護と職業倫理と法令 順守を関連付けた内容

毎月のフロア会議や全体会議にて、新型コロナウイルス感染予防対策や認知症対応（介護技術等）について各種検討会を継続的に行った。

□外部研修

職種	研修日	研修名	研修場所	研修内容
施設長	R5.1～3月	介護福祉士実践者研修	オンラインにて	介護計画作成者資格取得

今年度も、新型コロナウイルス感染症流行の影響により開催される研修のほとんどがオンラインとなった。また、年間的に少人数ずつではあるが、利用者様やスタッフで新型コロナウイルスに感染する事例が発生したり、令和5年1月末～2月上旬にかけて、事業所内で利用者様・スタッフの新型コロナウイルス感染のクラスターが発生したことの影響もあり、特に外部研修へのスタッフ派遣はほとんどできなかった。

実習受け入れ状況 介護実習・介護体験・社会福祉援助・交換研修

【 建国ビハーラてんまん 】

※ 新型コロナウイルス感染症流行の影響により、昨年度に続き実習受け入れは中止となる事態も少なからず見られたが、事業所として感染流行のない谷間の時期において実習生を受け入れることができた。

学校・会社名	研修日	実習名	研修場所	研修内容
株式会社 光フィールド	R4.06.08	職場体験実習	てんまん1F	小規模多機能型居宅介護事業所での1日体験（3名参加）
名古屋経営短期大学	R4.08.29～09.09	介護実習Ⅲ	てんまん2F	認知症対応型共同生活介護事業所での10日間の実習（1名参加）
株式会社 光フィールド	R5.03.30	職場体験実習	てんまん1F	小規模多機能型居宅介護事業所での1日体験（1名参加）